

特別支援学校(知的障害)における自閉スペクトラム症児への共同注意発達向上アプローチ —「遊びの指導」の人的・物的支援に着目して—

青木雄一（長野大学 社会福祉学部 准教授）

本研究では、特別支援学校（知的障害）に在籍する自閉スペクトラム症（ASD）児を対象に、「遊びの指導」が子どものコミュニケーション発達にどのような意味をもつのかについて検討した。特に、本研究では「共同注意」に着目した。共同注意とは、子どもと他者が同じ対象に注意を向け、その経験を共有することであり、人との関わりや言葉の発達の基盤となる重要な力である。例えば、子どもが玩具を示し、大人がそれに応答して一緒に楽しむような「今、ここ」におけるやりとりだけではなく、目には見えない過去の思い出や未来のイメージを共有して話をするなど、その一例である。こうした経験は、他者と気持ちや関心を共有する力を育み、その後の社会的コミュニケーションの発達の基盤になると考えられている。一方で、共同注意の発達に偏りがみられる場合には、対人関係の困難や不適応行動、精神的問題のリスクとも関連する可能性が指摘されている。

これまで、ASD 児の共同注意に関する研究では、指差しや視線といった子どもの行為が観察されるか否か、観察されない場合は、どのように子ども自身の発達を促していくかといった議論が主流であった。しかし近年では、共同注意は子ども一人の力だけで成立するものではなく、周囲の大人との関わりや環境との相互作用の中で育まれるものとして捉えられるようになってきている。特に、ASD 児の発達支援では、子どもの興味・関心に合わせて環境を整え、大人が共感的・支持的に関わることの重要性が指摘されている。つまり、子どもが「誰かと一緒に関わりたい」と思えるような「人」「もの」「こと」といった環境そのもののあり方が、共同注意の成立に大きな影響を与えると考えられている。

こうした特徴は、特別支援学校(知的障害)における「遊びの指導」が重視してきた「状況づくり」の考え方と共通している。「遊びの指導」では、子どもが自分から活動したくなるような遊具や空間を整えるとともに、教師は主導する存在ではなく、「共に遊ぶ仲間」として子どもの関心に寄り添いながら関与することが重視されてきた。さらに、遊びは「何かを学ぶための手段」ではなく「めいいっぱい遊ぶこと自体が目的」であり、その結果として、体・言葉・人とのやりとりといった多面的な発達が促される。こうした環境下においては、子どもは、自分の興味・関心に基づいて活動を選択しやすく、教師もその活動に応じて柔軟に関与することができるため、共同注意や社会的コミュニケーションの経験が積み重ねやすいと考えられる。しかし、これまで特別支援学校において、その教育的意義を共同注意の観点から検討した研究は十分ではなかった。

そこで本研究では、特別支援学校 4 校に在籍する ASD 児 5 名を対象に、「遊び」の授業場面と、「遊び」以外の授業場面（朝の会・図工）を比較し、共同注意が教師とのやりとりの中でどのように生起・維持・調整されるのかを観察した。観察では、子どもと教師の視線や発話、やりとりをビデオで記録し、共同注意の成立や持続の様子を詳細に分析した。

その結果、「遊び」の場面では、「遊び」以外の場面と比べて、共同注意がより多く生じ、また長く維持される傾向が認められた。これは、「遊び」の場面では、子どもが自分の興味・関心に基づいて活動しやすく、他者とのやり取りが生じやすい文脈である可能性を示している。また、本研究では、こうした違いを生み出す背景として、教師の支持的な関わりに着目しており、現在、その関連について詳細な分析を進めている。

本研究の成果は、「遊びの指導」が、子ども同士や教師との関わりを通して、コミュニケーションや社会性の発達を支える教育実践として重要な役割を果たしている可能性を示している。近年、特別支援学校（知的障害）においては、各教科等を合わせて行う「遊びの指導」について、通常学校との学びの連続性や教科別の学習との関係が重視される中で、その教育的意義が相対的に問い直されつつある。本研究は、共同注意という観点から「遊びの指導」の教育的意義を捉え直す基礎的知見となることが期待される。また、ASD 児のコミュニケーション支援や学校生活への参加を支える教育実践の在り方を検討する上でも意義をもつと考えられる。

謝辞：本研究の実施にあたり、研究助成を賜りました公益財団法人博報堂教育財団に深く感謝申し上げます。また、研究にご協力くださいました特別支援学校の先生方、対象児および保護者の皆様に心より御礼申し上げます。さらに、本研究の遂行にあたり、多くのご助言を賜りました山梨大学の吉井勘人教授に深謝申し上げます。

共同研究者：真鍋健（千葉大学教育学部 准教授）